

# 2021（令和3）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会  
なごみの里

## 1. 理念・方針

### (1) 法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### (2) 基本方針

#### ①生産活動の充実と地域との連携をしていく

#### ②心身の健康・安全を保持する

#### ③利用者の主体性を培う

#### ④利用者を中心に保護者・職員（施設）との信頼を深める

### (3) 中期目標（令和2年度～3年度）

自主生産品作業をなごみの里の特徴とし生産品の充実や作業の効率化を図り、地域の福祉活動や行事に参加し、また事業所への見学や行事参加も促して利用者・職員が地域とのつながりの中で活動できるようにする。

## 2. 施設概要

(1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

(2) 利用定員 40名（現利用者数：44名）

(3) 開所年月 平成21年4月

(4) 施設規模 敷地面積 433.24㎡ 延床面積 494.9㎡  
建物構造 鉄骨造二階建て 賃貸区分 民間より賃貸

## 3. 職員構成

### (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名

事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	8名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	0名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	14名

(2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (0回/年)	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士 (0回/月)	0名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	0名	12名	15名	15名	2名	44名
身障手帳	1名	2名	0名	0名	0名	3名
精神保健手帳	0名	1名	0名	0名	0名	1名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢41.3歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	2名	3名	3名	10名	2名	3名	23名
女	0名	7名	5名	3名	4名	2名	21名
合計	2名	10名	8名	13名	6名	5名	44名

最低年齢 男…18歳 女…21歳 最高年齢 男…73歳 女…75歳

平均年齢 男…42.1歳 女…40.6歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	中野区	東久留米市	清瀬市	合計
38名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	44名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	1名	5名	5名	3名	0名	30名	44名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～8:50	朝礼
8:50～12:00	作業・休憩

12:00~13:00	昼食・昼休み
13:00~15:10	作業・ラジオ体操
15:10~15:30	清掃・終礼
15:30~	帰宅（送迎）

(2) 土曜日

8:30~8:50	朝礼
8:50~11:10	作業・休憩
11:10~11:30	掃除・終礼
11:30~12:00	昼食・昼休み
12:00~	帰宅（送迎）

6. 重点目標

(1) 生産活動の充実と地域との連携

- ①自主生産品の各種チップスの新しい味の開発・季節やイベントに合わせたパッケージの改良や作業の効率化を図り、施設の特徴（顔）として継続・定着させていく。
- ②施設が主体となって催事を企画し、地域のサークル団体の参加協力を促し、より地域に根差した施設を目指していく。
- ③地域の自治会や懇談会に参加し、地域・施設へのニーズを把握し連携を図る。
- ④作業種目

作業種目	内 容
受託事業	箱折り、ショッピングバック加工、段ボール組仕切り、部品組み立て
清掃事業	中央公園、浅間山公園、白十字水やり・除草作業
自主生産品事業	ごま・各種ソース・納豆せんべい・バスポプリ
回収等事業	資源回収、(新聞・古紙・古着・段ボール・アルミ缶)
その他	自主生産品販売・段ボール作り（新光）などの出向作業

(2) 健康衛生・安全

- ①理学療法士による個々の運動プログラムをエアロバイク等の健康機器を利用し、肥満やケガの予防・機能維持ができるよう、運動機器の導入も含めて提供する。  
ダンス講師による体操を定期的（10回/年）に実施、運動の動機づけにする。
- ②健康衛生の充実を図り、施設の空調機器・床など定期的に業者による清掃を実施。  
また、利用者の安全面の確保から施設内の修繕や備品等の買い替えなども必要に応じて実施する。成人病（肥満等）や感染予防の対策を協力医療機関や理学療法士と連携して対応する。
- ③一般健診の他、歯科検診・口腔ケア（歯磨き指導）・婦人科・耳鼻科・眼科検診を実施し、健康状態を把握し家庭や医療機関と連携しながらアフターフォローしていく。
- ④歯科衛生士による歯磨き指導を実施し、口唇体操などアドバイスを基に個別対応し、保護者会を通して保護者にも口腔衛生の重要性の理解を深める。

(3) 利用者個々に合わせた支援の充実

- ①クラブ活動や各種行事（G 外出・宿泊）の場面や日課を通して、買い物・洗濯・身だしなみ・清掃・交通機関の利用など地域生活に必要なスキルを利用者個々に合わせて獲得できるように支援する。

- ②利用者を取りまく支援者、関係機関（社会資源）を活用し、相互に連携しながら円滑な支援ができるようにする。

(4) 給食

- ①利用者の健康に配慮した食事提供など、給食会議を通して検討していく。  
 ②施設の行事に合わせたメニューや装飾・演出などを工夫し、楽しめる食事の場を提供する。  
 ③感染症予防に考慮し、食堂の環境を利用者・職員の安全に配慮し整えていく。  
 ④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
679 kcal	24.4 g	96.2 g	19.6 g	97 mg	0.36 mg	0.32 mg	30mg

(5) 自治会活動

- ①行事やクラブ活動を中心に、利用者に関わる日課中の事柄に対し積極的に意見や希望を伝えられる場を提供する。  
 ②自治会の場において、プロジェクターやタブレットを使用し利用者に必要な情報をわかりやすく伝えていく。

(6) 行事

①クラブ活動

種目	主な活動場所	実施予定日
カラオケ	ビックエコー（東村山駅前店）	第4水曜日
ボウリング	久米川ボウル	第2・第4月曜日
お風呂	スタジアムジャポン（東久留米市）	第3・4火曜日

クラブ活動 毎月1回 リズム体操 10回/年 \*実施日は変更あり

※ 各行事については変更・中止の場合あり

②年間行事予定

	内 容
4月	歩こう会（保護者参加行事）
5月	グループ外出①
6月	日帰りバス旅行（保護者参加行事）
7月	宿泊旅行（1泊2日）
8月	夏祭り（地域参加行事） 防災館体験 夏期休暇
9月	恩多町地域運動会 グループ外出②
10月	グループ外出③
11月	山鳩会運動会（保護者参加行事）
12月	仕事納め（クリスマス会・保護者参加行事）冬期休暇
1月	成人を祝う会（保護者参加行事）・宿泊旅行・日帰り旅行
2月	グループ外出④
3月	炊き出し訓練（地域・保護者参加）

※ 各行事については変更・中止の場合あり

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

- ①地域における災害時の拠り所として、防災用品・食料や水の備蓄をしておく。
- ②防災計画に基づき月1回の防災訓練・年1回自衛消防訓練効果確認・防災館体験炊き出し訓練（地域・保護者参加）を地域・関連機関と連携して実施。

### (2) 事故防止

- ①事故に対する意識を高めるために、警察署交通安全課と連携し安全教室などを実施する。
- ②車両管理担当者を中心に車両の不良・消耗等の確認をチェックシートに記入、事故防止に努める。
- ③各送迎コースの道路状況や運転者の健康状態に留意し、事故防止に努める。

## 8. 施設外の方との関係

- ①自主生産品販売の作業を通して広域地域（市外も含めた）との連携を模索していく。
- ②地域の自治会・懇談会や地元行事などに参加し、地域との連携・交流を図る。
- ③施設の開放行事（夏祭り・防災訓練）への地域参加を働きかけていく。

## 9. 実習生の受け入れ

- ①地域の特別支援学校などより実習を受け入れ体験の場を提供する。
- ②大学などの実習を受け入れ、障害福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

## 10. 父母会、親の会との連携

### (1) 父母会

- ①保護者の施設に対する理解・協力を頂けるよう、年に10回保護者会を開催する。
- ②毎月の予定表（なごみ便り）で施設の近況報告や情報提供を行う。
- ③保護者参加の行事や作業などを通じて、相互理解を深め家庭との情報共有に努める。

### (2) 親の会

- ・共催行事を通して、協力していく。

## 11. 職員研修

- ①外部研修を積極的に取り入れて、職員の見識（虐待防止・権利擁護など）を広め、職員の質の向上を図る。
  - ・社協他関係機関、民間企業主催の研修会
- ②研修部会などを活かした取り組みを行う。

## 12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設運営・行事全般
評価会議	2回/年	アセスメントの見直し
給食会議	6回/年	委託業者との検討会議
ケース会議	適 宜	利用者個々について
個別支援計画会議	2回/年	各ケースの支援計画について
自主生産品会議	6回/年	自主生産品について

## 13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

### (1) 苦情解決

- 担当窓口及び第三者委員を設置し、親切丁寧に対応する。

(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

(3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修に参加し、意識をもって取り組む。また、担当窓口を設置し丁寧に対応する。

(4) 虐待防止

担当者を配置し、虐待行為を未然に防げるように対応する。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042-395-5700
担当者	松井 天平	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042-395-5700
担当者（男性）	齊藤 正昭	同上
担当者（女性）	江川 美樹	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042-395-5700
担当者	中田 奈緒子	同上